



BOOM! AUDIO STAGE II フェアリングロアスピーカーキット

概略

販売代理店による取り付けを推奨します。

キット番号

76000951

適合モデル

モデルの適合性については、純正P&Aカタログまたはwww.harley-davidson.com内のパーツ&アクセサリページ(英語版のみ)をご覧ください。

このキットは、ツイン冷却モデルには取り付けられません。

取り付け要件

FLHXモデルは、ハーレーダビッドソンベントフェアリングロアキット(部品番号57100258、未塗装)を事前にまたは同時に取り付ける必要があります。

全モデルで、フェアリングロアスピーカーボックスキット(部品番号57100233、未塗装)を別途購入する必要があります。

これらのアイテムと色が一致するものについては、最新の純正P&Aカタログをご参照ください。または、最寄りのハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店にお問い合わせください。

このキットを正しく取り付けるには、Loctite® 243 Medium Strength Threadlocker and Sealant (Blue) (Loctite 243 中強度スレッドロッカーおよびシーラント(青)) (部品番号99642-97)が必要です。

注記

Stage I と Stage II のスピーカーを、同じ車両に混在させないでください。

これらのスピーカーは、2014年以降のハーレーダビッドソンオーディオシステムでのみご使用になれます。これらのスピーカーを2006~2013年のハーレーダビッドソンオーディオシステムに使用した場合、スピーカーは回復できない損傷を受けます。これらのスピーカーを2005年以前のハーレーダビッドソンオーディオシステムに使用した場合、システムは回復できない損傷を受けます。

注記

オーディオシステムを作動する前に、ハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店でラジオのEQを更新する必要があります。先にオーディオシステムを動かすと、すぐにスピーカーが破損してしまいます。(00645d)

Digital Technician® II 診断ツールによるRadio EQの更新については、次の点に注意してください:

- ・ スピーカーを取り付ける前に実施するよう推奨します。
- ・ オーディオシステムを作動させる前に必要です。

- ・ ハーレーダビッドソンジャパン正規販売代理店においてのみお求めいただけます。

注記

- ・ スピーカーはアンプにつないで使う必要があります。アンプ(部品番号76000277A)およびフェアリングロアスピーカー取り付けキット(部品番号 76000586)を事前に取り付ける必要があります。アンプは、右側のサドルバッグ内側に取り付けられます。

警告

ライダーおよびパッセンジャーの安全を守るため、キットは正しく装着してください。サービスマニュアルを参照しながら、適切な手順に従ってください。自分で作業を行うことが難しい場合、または適切な工具を持っていない場合は、最寄りのハーレーダビッドソン正規販売網店に取り付けを依頼してください。本キットを正しく取り付けないと死亡したり重傷を負うおそれがあります。(00333b)

注記

この取り扱い説明書はサービスマニュアルの記載情報を参照しています。このキットを取り付けるには、該当する年式/モデルのサービスマニュアルが必要です。マニュアルはハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店で入手できます。

電気システムの過負荷

警告

電気システムアクセサリを取り付ける場合、影響を受ける回路を保護するヒューズまたは回路ブレーカーの最大アンペア数を超えないよう注意してください。最大アンペア数を超えると、電気的不具合が生じ、死亡したり重傷を負う場合があります。(00310a)

注記

電気アクセサリを装着し過ぎると、車両の充電システムに過剰な負荷がかかる可能性があります。複数の電気システムアクセサリが同時に作動し、それらの消費電流量が車両の充電システムで供給できる電流量の総量を超えた場合、バッテリーが放電し、車両の電気システムに損傷を与えるおそれがあります。(00211d)

このアンプには、電気システムから最大で8Aの追加電流が必要です。

キット内容:

図12および表1を参照。

準備

警告

誤ってエンジンを始動すると、死亡事故や重大な人身事故を引き起こすおそれがあるため、メインヒューズを外して作業を開始してください。(00251b)

注記

- ・ スマートサイレン装備車: セキュリティフォブがある状態で、イグニッションスイッチをON(オン)にします。サービスマニュアルを参照してください。システムが解除された後、イグニッションスイッチをOFF(オフ)にします。直ちにメインヒューズを取り外します。
- ・ スマートサイレン非装備車: サーマニュアルを参照してください。メインヒューズを取り外します。

注記

次の一般的ステップに関する詳細情報は、該当するサービスマニュアルを参照してください。

1. フェアリングロア装備モデル: ロアフェアリングを取り外します。
2. 全モデル: アンプ(部品番号76000277B)とフェアリングロアスピーカー取り付けキットをそのキットに入っている説明に従って、右サドルバッグ内に取り付けます。
 - ・ 2014年~2016年: フェアリングロアスピーカー取り付けキット部品番号76000586。
 - ・ 2017年以降: フェアリングロアスピーカー取り付けキット部品番号76000749。

ロアフェアリングの組み立ておよび取り付け

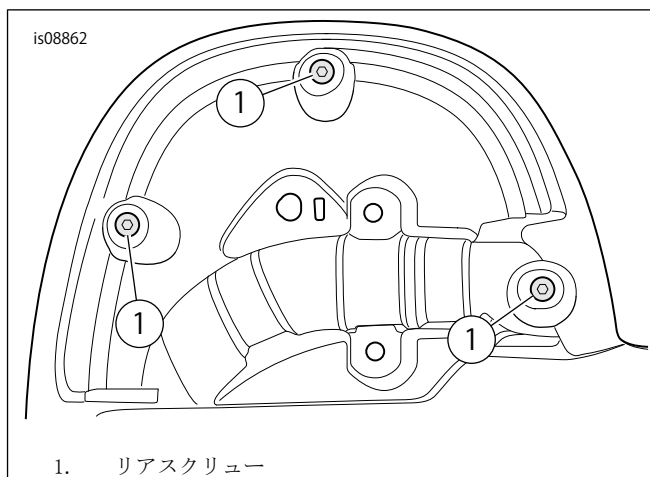
注記

片側へのロアフェアリングの組み立ておよび取り付けが完了してから、もう片側の取り付けを行ってください。

1. 「図1」を参照。片方のフェアリング後方からリアスクリーン(1)を取り外します。
2. 「図2」を参照。フロント部からスクリーン(3)、ブロックオフパネル(4)およびグローブボックス(2)を取り外します。ペントドアリンケージを外します。
3. 「図3」を参照。グローブボックススクリーン3本を取り外します。グローブボックスアッセンブリー(2)を取り外します。
4. 「図4」を参照。スクリーン(1)を取り外します。リンケージ(2)を取り外します。新品のエンクロージャーフロントに取り付けます。締め付ける。
トルク: 1.3-2 N・m (12-18 in-lbs)
5. 「図5」を参照。ガスケットシールの取り付けのために、スピーカーエンクロージャーとボトムトレイを用意します。50~70%のイソプロピルアルコールと50~30%の蒸留水の混合液できれいします。

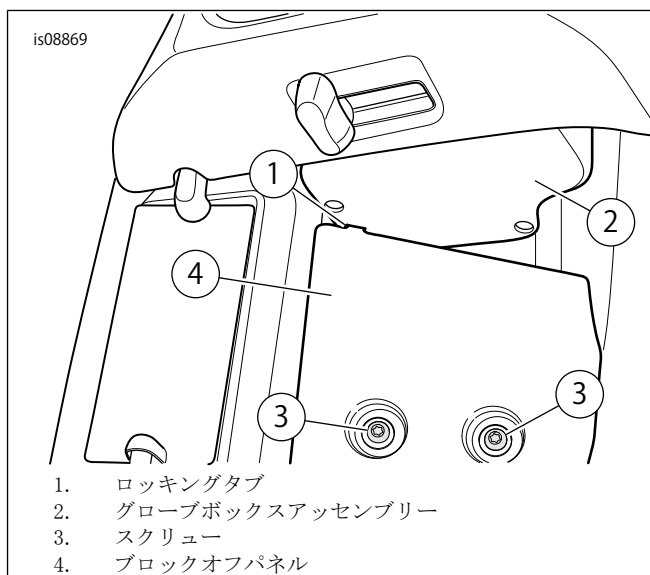
注記

組み立てを容易にするため、トレイを取り付けずに、スクリーン(図12を参照、アイテム10)を先にエンクロージャーに取り付けます。スクリーンを取り外します。



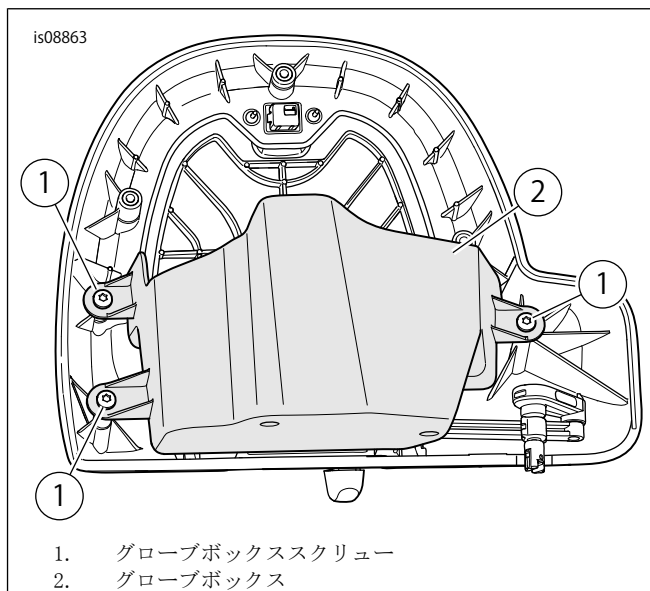
1. リアスクリーン

図1。リアスクリーン



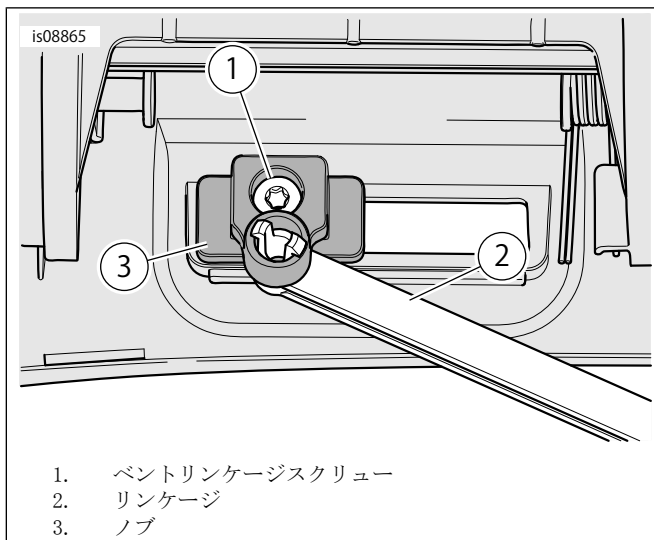
1. ロッキングタブ
2. グローブボックスアッセンブリー
3. スクリュー
4. ブロックオフパネル

図2。ロッキングタブおよびブロックオフパネル



1. グローブボックススクリーン
2. グローブボックス

図3。グローブボックススクリーン



1. ベントリンケージスクリュー
2. リンケージ
3. ノブ

図4。ベントリンケージスクリュー

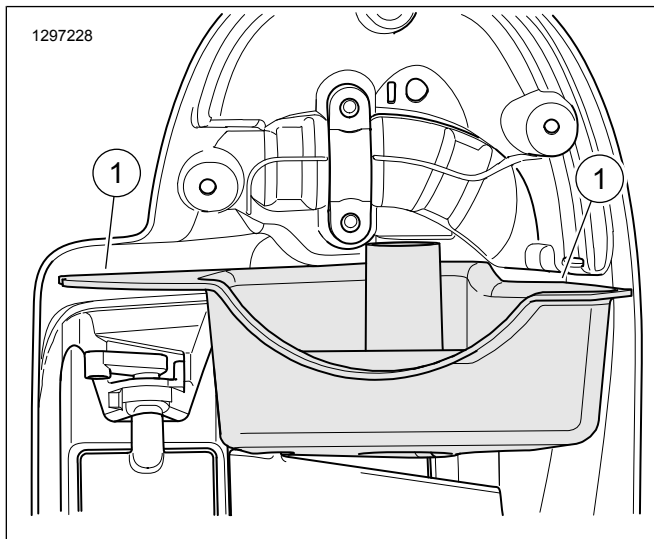
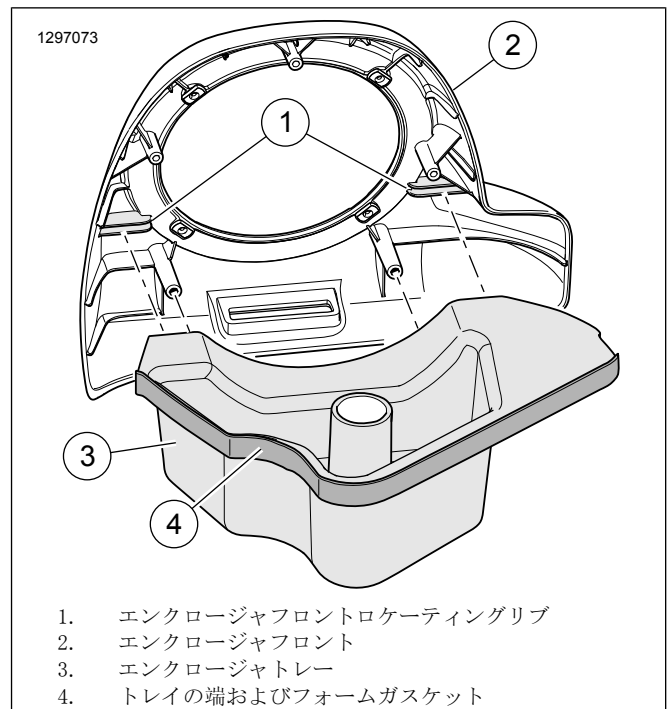
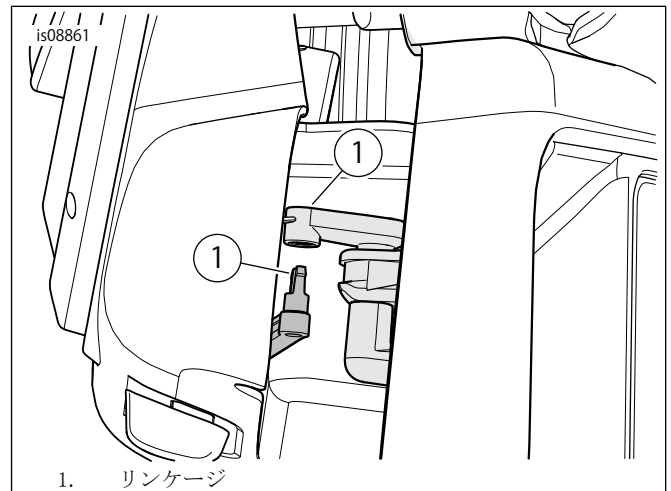


図5。ロアフェアリングのガスケットの合わせ面



1. エンクロージャフロントロケータイングリブ
2. エンクロージャフロント
3. エンクロージャトレイ
4. トレイの端およびフォームガスケット

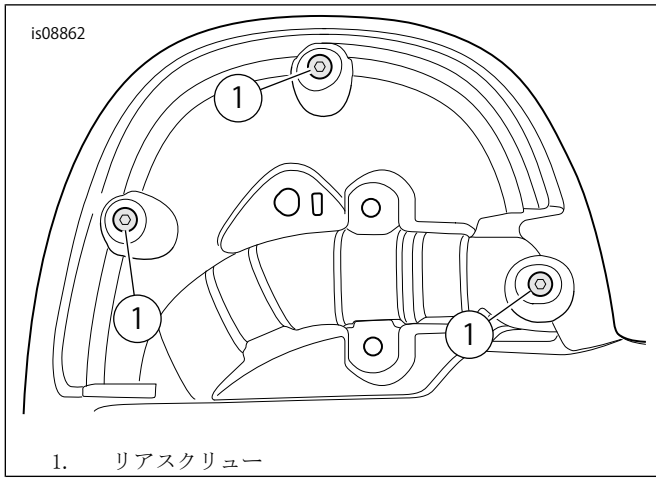
図6。エンクロージャアセンブリー



1. リンケージ

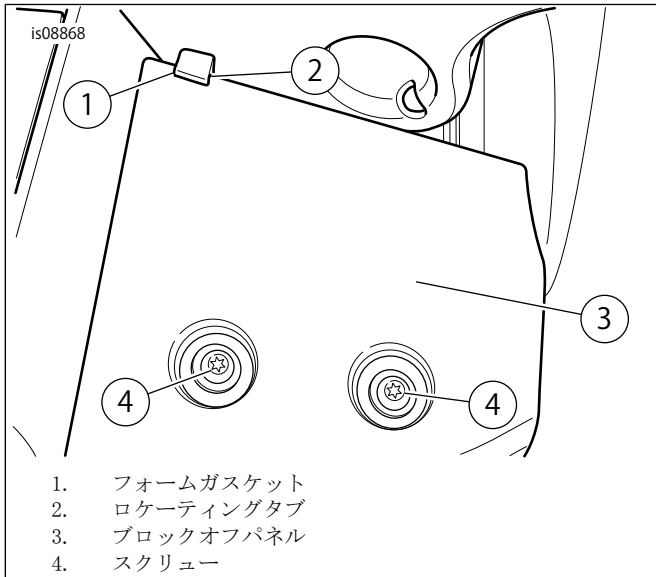
図7。リンケージの接続

6. 「図6」を参照。エンクロージャトレイ(4)をフロントエンクロージャ(2)に組み付けます。フォームガスケット(5)の両面粘着テープの一方の裏紙をはがします。図のようにシールを取り付けます。余分なフォームガスケットシールを切り取り、後で使用できるよう保管します。
7. 「図7」を参照。エンクロージャアセンブリーを配置します。リンケージを接続します。
8. エンクロージャサブアセンブリーを組み立てる前に、フォームガスケットシールから裏紙をはがします。エンクロージャアセンブリーを配置します。
9. 「図8」を参照。リアから、セルフタッピングエンクロージャスクリュー(1) 3本を取り付けます。締め付ける。
トルク: 1.3-2 N・m (12-18 in-lbs)



1. リアスクリュー

図8。リアスクリュー



1. フォームガスケット
2. ロケーティングタブ
3. ブロックオフパネル
4. スクリュー

図9。ブロックオフパネルおよびロケーティングタブフォーム

10. 「図9」を参照。切り取ったガスケット片(1)を、ブロックオフパネルのロケーティングタブ(2)に折り返します。パネル(3)を取り付けます。Loctite 243 (青)をきれいなネジ山(4)に1滴塗ります。スクリューを取り付けます。締め付ける。

トルク: 7.3-8.4 N・m (65-74 in-lbs)

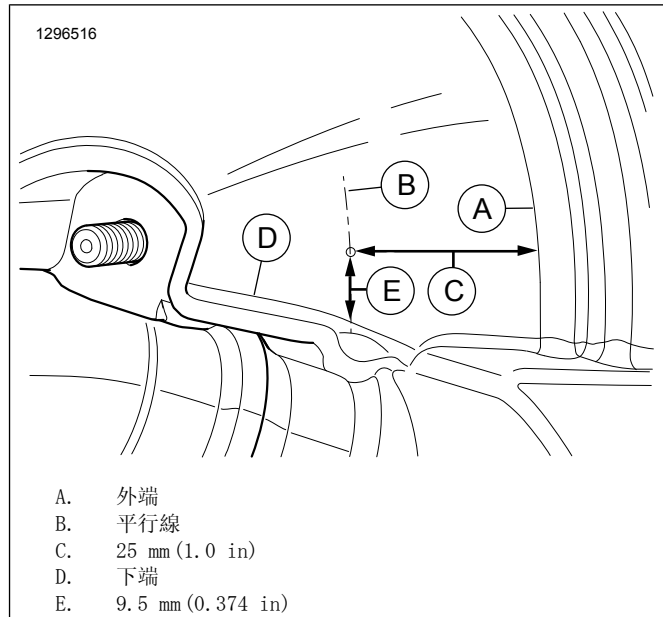
11. ペンキの割れや剥がれを避けるために、グローブボックスの背面の穴あけ部分をマスキングテープで覆います。

12. 「図10」を参照してください。外端(A)から、所定の距離(C)のところに平行線(B)を引きます。

長さ/寸法/距離: 25 mm (1.0 in)

13. 下端(D)から、所定の距離(E)のところで平行線上に目印を付けます。

長さ/寸法/距離: 9.5 mm (0.374 in)



A. 外端
B. 平行線
C. 25 mm (1.0 in)
D. 下端
E. 9.5 mm (0.374 in)

図10。位置に穴あけ

14. グローブボックスの内側面の壁のドリルの位置に、所定のサイズの穴を開けます。

長さ/寸法/距離: 9.5 mm (0.374 in)

15. 「図11」を参照。大型開口部の内側からキャプティブナット4本を挿入します。

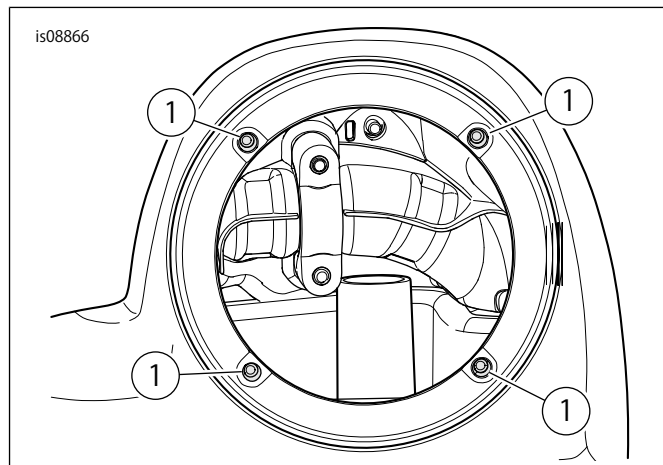


図11。キャプティブナット

16. サービスマニュアルを参照してください。ロアフェアリングを取り付けます。まだロアフェアリングキャップを取り付けしないでください。

17. スピーカー配線をロアフェアリングの穴に送ります。

- ・ 水色および水色/黒色配線を右側へ。
- ・ 水色/オレンジ色および水色/灰色配線を左側へ。

18. 「図12」を参照。スプリットグロメット(11)を分割します。ハーネスの脚部の周りにグロメットを取り付けます。フェアリング内のドリルであけた穴に取り付けます。

19. ロアフェアリングキャップを取り付けます。

20. ステップ1~19を繰り返して、残りのフェアリングを取り付けます。
21. ワイヤーハーネスをケーブルストラップで固定します。ワイヤーがステアリングまたはサスペンションの移動を妨げていないか確認します。

注記

フェアリングロアスピーカーは向きが決まっています。左スピーカートリムリングには、上部に「BOOM! AUDIO STAGEII」と記載されています。右側には表示がありません。

22. 「図12」を参照。スピーカーエンクロージャーの内側にあるスピーカーワイヤーコネクタを新品のウーファの裏側にあるスピードターミナルに取り付けます。異なるサイズのスピードコンタクトを使用することで正しく組み立てることができます。
23. アンプハーネスの2ウェイオーディオコネクタをミッドレンジおよびツイーターコネクタ(D)に接続します。
24. ツイーター(C)が上から外側に45度になるようにスピーカーアッセンブリー(1)を回します。
25. スピーカーアッセンブリーを、スピーカーエンクロージャーに、キット付属のスクリュー(5)4本で固定します。
 - a. スクリューを締める際には、取り付け穴を通してキャプティブナットを押してしまわないよう注意してください。
 - b. 左右交互の順で4本のスクリューを全て締めます。
トルク: 1.3-3.4 N・m (12-30 in-lbs)
26. ステップ22~25を繰り返して、残りのスピーカーエンクロージャーを締めます。

▲ 警告

ステアリングのスムーズな動きを妨げるものがないことを確認します。ステアリングに干渉があると車両を操作できなくなり、死亡事故や重大な人身事故を引き起こすおそれがあります。(00371a)

交換用パーツ

表1. 交換用パーツ

アイテム	詳細(数量)	部品番号
1	スピーカーアッセンブリー、ロアフェアリングポッド(左) (品目2~4を含む) スピーカーアッセンブリー、ロアフェアリングポッド(右) (品目2~4を含む)	76000885 76000886
2	・ スピーカーアッセンブリー、ウーハー	別売りなし
3	・ スピーカーアッセンブリー、ツイーター/ミッドレンジ	別売りなし
4	・ スクリュー、フラットヘッド(3)	別売りなし
5	スクリュー、パンヘッドTORX、#6-32x25 mm (1.0 in) 長(黒)(8)	10200294
6	キャプティブナット(8)	10100064
7	トレイ、スピーカーエンクロージャー下部(左)	76000883
8	トレイ、スピーカーエンクロージャー下部(右)	76000884
9	ガasketシール、粘着裏紙付き(2)	25700895
10	スクリュー、TORXパンヘッド、#10-16x19 mm (0.748 in) 長、セルフタッピング、黒(6)	2995
11	グロメット、ハーネスシール(2)	11410

1. ハンドルバーを左右のフォークストップに当たるまで完全に回したとき、ワイヤー、ハーネスまたはラインがきつく張った状態にならないことを確認してください。
2. ステアリングが滑らかにストップからストップまで動くか確認してください。

完了

注記

オーディオシステムの損傷を防ぐため、メインヒューズを取り付ける前に、イグニッションおよびオーディオシステムがOFF(オフ)になっていることを確認してください。

注記

オーディオシステムを作動する前に、ハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店でラジオのEQを更新する必要があります。先にオーディオシステムを動かすと、すぐにスピーカーが破損してしまいます。(00645d)

1. サービスマニュアルを参照してください。メインヒューズを取り付ける。
2. Digital Technician II (デジタルテクニシャンII)によるRadioEQの更新は、ハーレーダビッドソン正規販売網店に依頼してください。
3. イグニッションをON(オン)に入れますが、エンジンは始動しないでください。
4. オーナーズマニュアルの「Boom!ボックスインフォテインメントシステム」セクションを参照してください。ラジオをオンにします。すべてのスピーカーから音が出て、フロント/リアフェーダー機能が正しく作動しているか確認します。異常がある場合はスピーカーの配線をチェックします。
5. サービスマニュアルを参照してください。アウターフェアリングとウィンドシールドを取り付けます。

注記

バスの反応が高いことにより、好ましくない振動が発生した場合はブロックオフパネルとフェアリングロアの間にフォームを追加してください。

使用時

強い水圧の水がスピーカーグリルに直接当たらないようにしてください。スピーカーが破損する恐れがあります。

表1。交換用パーツ

アイテム	詳細(数量)	部品番号
フェアリングロアスピーカーボックスキット(フェアリングロアスピーカーキットの一部ではありません)。		
A	スピーカーボックスキット(左右のボックスを含む)	
B	フェアリングロア(左側を表記)	
本文中記載アイテム:		
C	ツイーター	
D	ミッドレンジおよびツイーターのコンネクター	

交換用パーツ

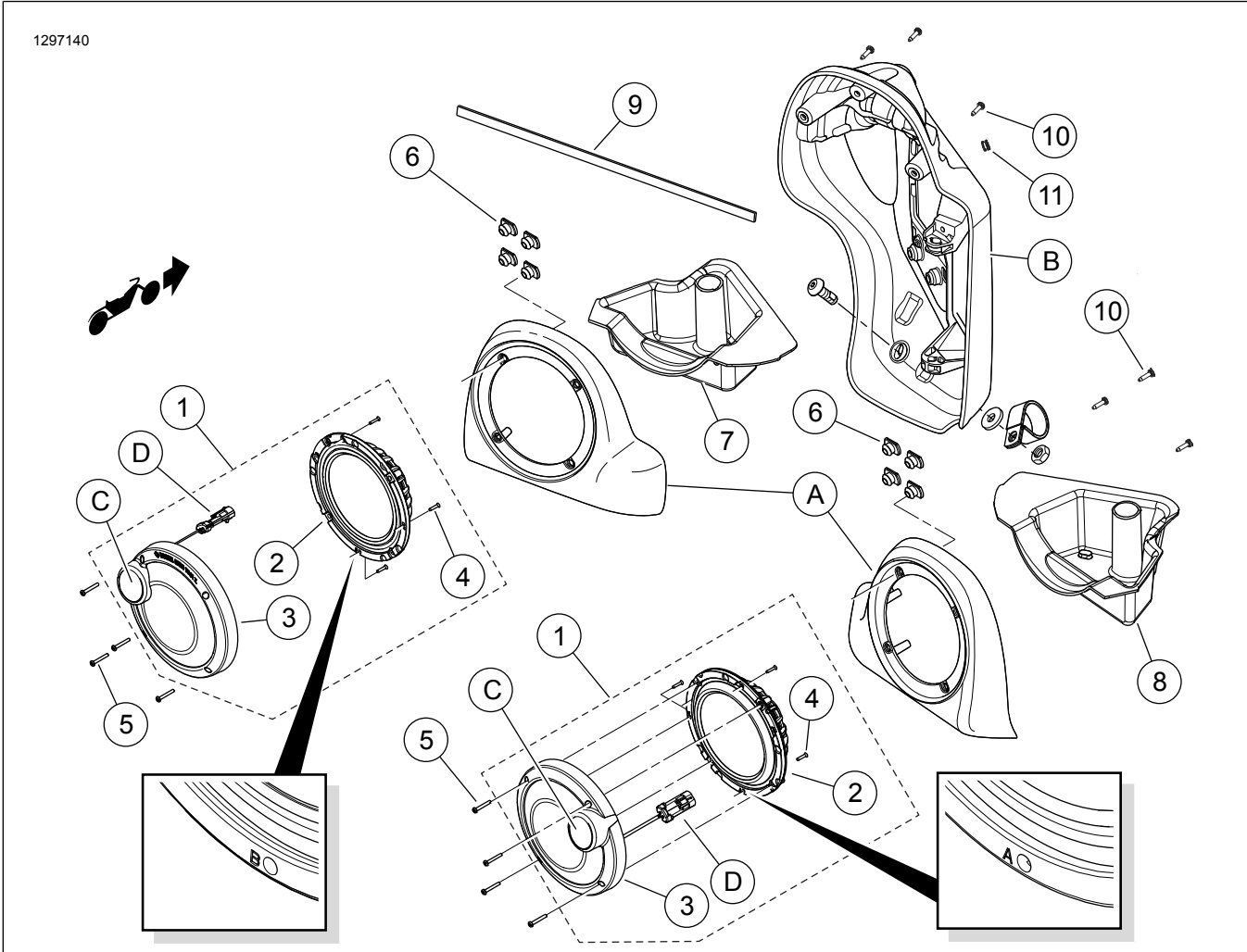


図12。交換用パーツ、Boom! AudioStage IIフェアリングロアスピーカーキット